

タウンミーティング（多賀地区）開催報告

○日 時 令和元年 8 月 21 日（水）午後 7 時 30 分から
○場 所 多賀公民館 2 階集会室

○参 加 者 多賀地区連合自治会長、北条連合自治会長、北条新田自治会長、多賀小学校長、
多賀幼稚園長、民生児童委員地区会長、社会福祉協議会多賀支部長、
多賀老人クラブ連合会長、婦人会長、小学校 PTA 会長、体育協会長

市長、経営戦略部長、東予総合支所長、市民協働推進課長、地域組織係長、
シティプロモーション推進課長、広聴係長、東予総合支所総務課長、総務調整係

○傍 聴 者 7 人

- 次 第
- 1 開会
 - 2 挨拶（多賀地区連合自治会長）
 - 3 挨拶（市長）
 - 4 市の主要事業について《市提案》
(1) 主要事業の説明（市長）
 - 5 参加者自己紹介
 - 6 地域課題①「これからの地域づくり」について《市提案》
(1) 課題等の経緯等内容説明（市民協働推進課長）
 - 7 地域課題②「世代間交流」について《地域提案》
(1) 地域からの提案説明（多賀地区連合自治会長）
(2) 意見交換
 - 8 その他
 - 9 まとめ・閉会
(1) まとめ（市長）
(2) 挨拶（多賀地区連合自治会長）

○会 議 録

1 挨拶

【多賀地区連合自治会長】

皆様こんばんは。大変お忙しいところ、多賀地区のタウンミーティングに市長をはじめ、
沢山の方に参加いただき、感謝申し上げます。

タウンミーティングは、西条市連合自治会と市が主導して、これからの地域の行く末をお
互いに話し合う会である。西条市の今後の方向性等も含め、今日は忌憚のない意見を出して
いただき、この会が有意義なものとなるようお願いする。

また本日は、「これからの地域づくり」と「世代間交流」を主として話し合うのでどうぞよ
ろしくお願いしたい。

【市長】

皆様改めて、こんばんは。出席しにくい時間にもかかわらず地域のステークホルダーの皆
様に集まっていただき、感謝申し上げます。多賀校区の北条新田や三津屋で 6 年間過ごしたの
で、ふるさとに帰ったような気持ちさえしている。

6 月 22 日から 11 月 28 日まで約 5 か月間、28 地区でタウンミーティングを行うが、各地域
の皆様が抱えている課題が、共通する部分もあるが、それぞれの地域によって異なる部分も
ある。皆様の声を聞きながら、来年度の当初予算に反映できるものは、反映をしていきたい。

タウンミーティングのやり方も前市長と違い、戸惑いもあると思うが、話し合いもこれで
終わりではなく、これから始まるのだということで、意見もどんどんいただきたい。全ての
意見に応えられるのが良いが、応えられないものには、応えられないということも伝えてい
く。

限られた時間の中ではあるが、皆様の声を聴きながら市民主役の西条の実現をしていきたい。今日をきっかけによりしく願います。

2 市の主要事業について

(1) 主要事業の説明

【市長】(参照別紙資料 (1))

3 地域課題①「これからの地域づくり」について

(1) 課題等の経緯等内容説明

【市民協働推進課長】(参照別紙資料 (2))

4 地域課題②「世代間交流」について

(1) 地域からの提案説明

【多賀地区連合自治会長】

これまで世代間や地域住民の交流の場として、自治会による盆踊り大会や、演芸大会を開催していたが、近年、参加者の減少や役員の負担の軽減のため中止しており、住民の交流の場が減っている。また、「とうとうさん」などの伝統行事への子どもの参加も減り、自治会の役員のなり手不足、老人会・婦人会や各種グループの世代交代の難しさなども問題になってきている。

そこで、この先 10 年、20 年後の多賀地区を見据えながら、持続可能な暮らしの実現のために、今後の多賀地区の「世代間交流」をテーマとして提案させていただいた。各自治会や団体で行っている各世代が集まる行事について、工夫している点や課題、将来への希望などたくさん意見を聞かせていただきたい。

(2) 意見交換

【地域組織係長】

いきなり話し合うのも難しいと思うので、私が皆様の意見を聞きながら、意見を共有していただく機会にしたい。まず、地域行事の開催についてどのような単位でやっているのか。

【参加者】

多賀地区連合自治会は、持ち回りの 4 年間でやっており、主な行事として、5 月に一斉大掃除をしている。その後は三津屋、北条、北条新田各自治会で計画して行事を行っている。

具体的には、三津屋では盆踊り大会、とうとうさん、桜祭り、防災訓練を行っている。

【参加者】

北条連合自治会としては「とうとうさん」を行っている。かつては盆踊りや演芸大会など行っていたが、参加者が少なく取りやめになったというのが現状である。

問題は、単位自治会の会長の任期が 2 年で、今までの状態もよくわからないまま急に会長に任命された。そういったことも世代間交流などに関心が持てない問題の一つではないか。

【地域組織係長】

今年から自治会長をされている方が他にも来ているが、自治会の会長を決めるルールや、役を回すルールはあるか。

【参加者】

北条新田自治会は、10 年間くらい会長をされていた方がいて、そのあと前会長が 2 年間やり、その後、私が受け継いだ。次のなり手を探るのが難しいと聞いている。

盆踊りと、お祭り前の演芸大会を行っていたが、出席する人も少なく中止になったが、「いもたき会」だけは実施している。

「とうとうさん」と「いもたき」は続けていこうという話になっている。

【地域組織係長】

多賀地区において、人口減少だけではなく、ライフスタイルの変化、人々の価値観が変わって来ている。これからは時代に則した形で、自治会の役の回し方や、地域行事の在り方について地域の皆様で、どういう方向に進めていけばいいのか、話し合いをしていきたい。

自治会だけではなく他の団体も役のなり手不足や、世代交代が進まないといったことがあろうと思うがその辺りはどうか。組織の課題などがあれば教えていただきたい。

【参加者】

老人クラブも他の組織と同じで、若い方も高齢者も減り厳しい。けれど減少しているのは仕方ないので、地域の団体と連携が必要である。老人クラブも解散しているところが増えてるので、自助努力で仲間を作るようにしている。

【参加者】

婦人会も、自治会と同じように2年で回っていたが、上の世代の方たちは固定して役をしていたようで、最近までパワフルに活躍されていた。しかし、年齢的にもしんどくなり代わりの人を探して欲しいとなったので、しょうがなくお手伝いで入った。入ると責任が重くて、することも非常に多い。若い人を入れてと言われるが、私たちを見ていたら大変そうだしということで、下の世代の方を入れるのが難しくなっている。

どの地区も若い人を入れるのは難しいようで、国安の婦人会は解散して、自治会の婦人部といった形で、炊き出しの時に手伝いをするというのを聞いた。多賀もそういった感じにした方がいいのかと思う。

【地域組織係長】

西条市内を見渡してみても、いろいろな形がある。現状と照らし合わせて他の地区を参考にしながら、それぞれの地区にあったやり方をしていただきたい。

行事への参加はいつも同じような顔ぶれで新しい人が参加せず、世代間交流が進んでいないと言っていたがどう感じているか。

【参加者】

知っているようで知らない事もあり、それぞれの自治会が、どんなことをしているのか聞いて、「そうだったのか。」と思うことがある。

例えば、三津屋の「とうとうさん」がいつあるかを共有する場があれば、子どもたちに「今度とうとうさんだってね。」と、繋がれる場を周知することもできる。子どもたちが今回は自治会の行事に行き、次は婦人会の行事、その次は老人会の行事へ行くというのがネットワーク的にわかったり共有できたりすると、なお、世代間交流が進むと思う。

学校で言うと多賀地区は「ダチョウ倶楽部」、「東予ふるさとづくりの会」があり、田植えや稲刈りといった稲作のお世話をしてくれたり、「たがっこフェスティバル」という行事があったりする。また、老人会や婦人会にお世話になり昔ながらの遊びをしたり、餅つき大会をしたり世代間交流を学校も図っているので、皆様に知っていただきたい。地域自治組織の提案があったが、そういった部分につながる事だと思う。また、コミュニティスクールも考えているがこれも関連してくると思う。

【地域組織係長】

新しい組織を作ってやっていくとなると、地域の皆様に負担になるのではないかと捉えがちになるが、皆様が情報共有し、繋がり合える場を地域自治組織と捉えていただき、円卓を囲んで話し合いをする場を作って欲しい。

【参加者】

地域行事に子どもが行けば、親や祖父母がセットで付いてくるので行事等の情報提供をお願いしたい。幼稚園の行事では6月に夏祭り、9月には運動会があり、大人も大勢来てくれるので、PTAや学校は情報発信において大変強い力になる。子どもを使って情報共有することが大きな要素になると感じている。

【地域組織係長】

多賀地区の地域づくりのキーワードは「子ども」であると感じた。

【参加者】

三津屋は学区が、壬生川小学校と多賀小学校となっており、行政区と学区が異なっているが、これは問題ではないか。

また、活動する役員の負担が多いという話があったが、人の世話をできるということは非常に大事なことで、それをできる人材を増やしていくことが課題であると思う。

地域で独居老人や空き家がものすごく増えているという状態を目の当りにしていると不安を感じる。空き家について今後どうしたらよいか考えなければいけない。

【地域組織係長】

課題を解決するには、まず地域の課題が何なのかを把握することが地域づくりの一步になるのではないかと思います。

【参加者】

子どもを通じて、情報の共有をするような場をつくり、地域の行事ごとなどで世代間交流

をする。そして、面識の少ない人たちが集まり交流を深めてもらえればいいと感じる。

最近だと夫婦で共稼ぎが非常に多く、夜に開かれる会が非常に多い。また、多賀小学校のPTAで言うと男性が3人しかおらず、女性陣に頑張っていただきありがたいが、男性陣も少し前に出てきてほしい。全体の人が減っていく中で、会の在り方を少し考えていただきたい。

【地域組織係長】

どの地域でも会が多く、同じような会で同じようなメンバーであるが、話すテーマが毎回違っているので、同じメンバーであるならば、同じ会でいくつかのテーマを話合ったらいいのではないのかという声もある。その辺り多賀地区の現状をみながら、整理していけば何か解決の方法が見えてくるのではないか。

暮らしをめぐる課題として独居高齢者や、空き家が増えているといった意見が出ていたがその辺りはどうか。

【参加者】

独居高齢者の見守りを定期的に行っている。特に三津屋地区は、マンションやアパートが多く一人で住んでいる高齢者が多いことが気になっている。そういう方は地域とのつながりが薄く、自分から殻にこもる方もいる。つながりもないので、老人会や自治会がしていることも知らない。あまり介入しすぎると他の地区では、取り調べをするのかと民生の会にクレームがでたそうで、その辺りの対応はあまり触らずに静かに見守ることをしている。

地域の活性化は単位自治会が一番の中心になって活動しないといけない。そうすると自治会の加入数をいかに増やしていくかということが一番大切で、それを具体的にどうやってしていくかを話せたらいいと思うし、何かしていることがあれば教えて欲しい。

【地域組織係長】

体育協会では、世代間交流でグラウンドゴルフなどを行っているがどのように感じているか。

【参加者】

スポーツ行事の企画は毎年同じような事はしているが、だんだん出場してくれるチーム数が減っている。各自治会に案内文書を出しているが参加してくれる人がなかなかいない。ライフスタイルも変わってきており、自治会で纏まりチームを作るよりは、仲のいいグループでの参加ならしてくれるような気もしている。呼びかけ方も少しずつ変えていかなければいけないと感じている。体力づくりのためにと軽い気持ちで参加できる行事を考えていきたい。

【地域組織係長】

行政の区域と学区が別々だということが出たが、その辺りの話は難しいので、本日いただいた意見は持ち帰り検討できるものも含めて考えさせていただきたい。

今日の意見交換会は、「世代間交流」や地域をめぐる課題として、一人暮らしの高齢者が増えてきた、空き家が増えてきた等の地域課題が明らかになってきた。

地域の皆様が、こういう形で集まる機会がなかなかなかったのも、今回課題について具体的に解決策までは出せないが、情報共有ができたことは意義があったと思う。

本日、皆様が挙げられた課題は、繰り返し地域の皆様に話をしていながら、より魅力ある、この先10年先20年先も住みやすい多賀地区を目指して欲しい。4つのキーワード「参加、連携、話し合い、課題解決」が今後の地域づくりのキーワードになってくる。どういった多賀地区にしていきたいかという、一つのビジョンを抱けるような話し合いをしていただきたい。

地域に任せるのではなくて、一緒に参加をさせていただきながら、話し合いのサポートも含め、取り組んでいきたい。また、本日をきっかけに多賀地区での地域づくりを進めていただきたい。

5 地区における課題及び要望

【シティプロモーション推進課長】(参照別紙資料(3))

6 まとめ・閉会

【市長】

長時間に渡り貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。やはり、地域が抱えている課題については、どの地区も共通する課題と、多賀地区ならではの課題もあることが分かった。問題を先送りにするのか、思い切って役をするのか難しいところである。1年目の方もおり、苦労をかける場面も多々あると思う。そういった中で、今やるということであれば、市も時間

を割いて皆様と一緒に協働のまちづくりをしていきたいという思いや覚悟がある。本気で臨んでいかないと本当に地区が壊れてしまうので、そうなる前に手を施していきたい。

エネルギーがいる事なので、無理をお願いする場面もあると思うが、多賀地区のいいところを、子どもたち孫たちの世代に繋いでいく。そのために、一汗流そうということになれば、課題解決に取り組んでいって欲しい。

今後は、公民館の機能というのを大切にしていきたい。公民館に行けば、課題の解決や、欲しい書類が出てくる。そして家にこもることが無くなるような楽しい公民館にしていくため、公民館長にも頑張ってもらいたい。

我々も一生懸命関わっていききたいので、今日の会をきっかけに、課題解決に向かっていきたい。

【多賀地区連合自治会長】

2年前に地域づくりの話を聞かせていただき、何かやらないといけないなとは思っていたが、まとめて皆様に話を進めるという気持ちになかなか起こらなかった。今回のタウンミーティングはとても意義なものになりよかったと思う。

地域の代表者にいろんな意見をいただき、前向きな考えになったのではと思う。このタウンミーティングを第一歩として、今後は多賀公民館が主体で引っ張ってもらい2回、3回と続けていきたい。

本日は、市長をはじめ、各自治組織の代表の皆様、又お越しの皆様にご感謝申し上げます。意義のある方向に進められるよう地域づくりを図っていきたい。

(閉会)

<タウンミーティングの様子>

